



第 13 号
平成 20 年 11 月 7 日
安達 嘉也
安達真希子 作成

読書の秋です！

2学期から、大連日本人学校図書館がリニューアルオープンしました。何が変わったかという、図書館システムを導入し、パソコンで管理できるようになったのです。ここは中国なので、日本の本は書店で買うことはできません。しかし、子どもたちにはたくさんの本を読んでほしいということで、学校で購入したり、寄付していただいたり、帰国される方が置いていって下さったりと、日本人学校図書館にはたくさん本があります。この本をすべてパソコンで管理するとなると準備も大変なのですが、保護者の方々の多大なる協力のおかげで、6000冊以上ある本すべてにバーコードと背ラベルを貼り、パソコンに登録するという作業を順調に行うことができました。司書の資格があるということで、安達（真希子）も微力ながら手伝わせていただきました。貸出、返却などの作業がパソコンで簡単にできるだけでなく、本の検索や貸出ランキングなどたくさんできるようになり、子どもたちも喜んで図書館に通っています。今後も、大連日本人学校の子もたちがたくさん本と出会い、たくさんの栄養を吸収できるようお手伝いしていきたいと思ひます。

スーパーのレジの
ように、「ピッ」と
音が鳴ります♪



読書月間の取り組みで、みんなのよく知っている絵本の中国語版や英語版が展示されています。右下の写真は宮西達也さんの絵本です。さて、日本語の題名がわかりますか？



～今月の中国語～

秋といえば、「読書の秋」に加えて、「食欲の秋」とも言いますね。今回は、最近市場でよく見かける果物を中国語で紹介しします。大連ではその季節ならではの旬の果物がたくさん売られています。

なし → 「梨」	ぶどう → 「葡萄」	かき → 「柿子」
ざくろ → 「石榴」	りんご → 「苹果」	みかん → 「桔子」